

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）

分担研究報告書

小児歯科・口腔医学からの難病対策

岡 暁子 福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 准教授

【研究要旨】

難治性小児消化器疾患によって、小児期に経口からの栄養摂取が障害されると、咀嚼や嚥下など、正常な発育過程で習得されるべき口腔機能に遅れや獲得不全が起きる可能性が高い。しかしながら、その実態はいまだ明らかになっていないのが現状である。我々は、歯科医師の立場として難治性小児消化器疾患に罹患している小児、移行期、成人期の患者の口腔形態や口腔機能に着目し、歯・口腔粘膜・咬合を含めた口腔実態の特徴と問題点を明らかにしていきたいと考えている。さらに、保護者への口腔形態・機能に関するアンケート調査を行い、歯科医療が果たすべき新たな役割を探索したい。本年度は、これらの調査内容について担当医師との協議を重ね、研究倫理申請に向けての準備を行った。